

寝台特急サンライズについて申し入れを行う！！

本日、地本は平成27年3月ダイヤ改正により、名古屋運輸区の車掌が寝台特急サンライズに乗務することの問題点を会社に申し入れました。

サンライズとは山陰エリア・四国エリアと東京を結ぶ寝台特急で「サンライズ瀬戸」「サンライズ出雲」を岡山で分割・併結して運転している列車です。

現在は、JR西日本の車掌が東京まで乗務していましたが平成27年3月ダイヤ改正により、乗務範囲が会社間ごとに区割りされます。

JR東海では米原～熱海間について米原～浜松間を上下とも名古屋運輸区、浜松～熱海間の上り列車は静岡運輸区、熱海～浜松間の下り列車は浜松運輸区の車掌が乗務します。

名古屋運輸区では、寝台特急列車に乗務するにあたり会社は、現車訓練や定期訓練で周知を徹底してきていますがJR発足以来、寝台特急列車に乗務することは初めてのことでそのためサンライズに乗務する車掌は多くの不安を抱えています。

JR東海労は訴えます！！

事が起きる前に会社は万全な体制をとるべきです！！

JR東海労の要求

1. サンライズは14両編成である。車内環境保持及び異常時対応に備えるために車掌を3人乗務とすること。
2. 下り列車サンライズ(5031M)は、浜松駅で旅客の乗降扱いがあるので運転保安上、駅係員を出場させること。
3. サンライズに乗務する車掌行路はA1組に4行路「C103W(5032M)、C106WF(5031M)、C107W(5032M)、C108W(5031M)」集中している。連続して深夜帯に乗務することは肉体的にも精神的にも疲労困憊につながるためA1組以外にも乗務できるようにすること。
4. 寝台特急サンライズについて超勤で営業勉強会を開催すること。